



Grow 広げる

World Thinking Day 2017

2017年ワールドシンキングデイ

ガールスカウト日本連盟版



もくじ

ワールドシンキングデイ2017	1
WAGGGSの木を見つけよう	3
リーダーの皆さま(始める前に)	5
一緒に楽しもう	7
根	11
1. つながりを広げよう	12
2. アワカバニャを広げよう	13
3. 足跡を広げよう	14
4. 踊りを広げよう	15
5. チャレンジを広げよう	16
6. レディ・オレブ・ベーデン-ポウエルの庭を広げよう	17
7. ワールドシンキングデイファンドを広げよう	18
幹: 独自の活動を広げよう	19
枝	21
1. 市民としての責任を広げよう	22
2. 関わりを広げよう	23
3. 協力を広げよう	24
4. 個性を広げよう	24
5. コミュニケーションを広げよう	25
6. 創造力を広げよう	26
花と実: 木を植えよう!	28



ワールドシンキングデイ2017

2017年、私たちはワールドシンキングデイ(WTDと略)を広め、世界中のより多くの少女と若い女性にガールスカウト運動に関わることの意義を感じてもらえるようにしたいと考えています。2017年のワールドシンキングデイの活動は、ガールスカウトが新しい会員にガールスカウト運動を伝えるよう支援し、この運動を発展させる旅となるでしょう。

2017年のテーマと活動パックは、「Connect – Grow – Impact」というガールガイド・ガールスカウト世界連盟(以下WAGGGS)の戦略に沿って設定されています。2016年は一つの運動としての素晴らしいつながりを祝いました。2017年はそれを広げるときです。



世界には約8億人の少女がいますが、ガールスカウトはわずか1千万人だということを皆さんは、知っていますか。これは世界中の少女の1%にすぎません。これを100%にしましょう!

私たちは、すべての少女が安心して成長し、楽しく、適切で、関わりやすい、学習者主体の体験がたくさんできる世界を作りたいのです。

「一粒の小さな種から、
大きな強い幹が育つ」

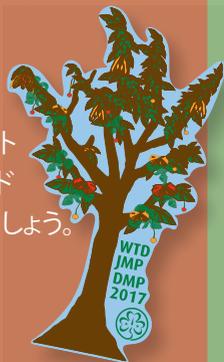
アイスキュロス

ワールドシンキングデイの活動として、世界中のガールスカウトが、新しく仲間となり得る人々とともに、「変化の種」を探す宝探しにでかけます。その種は、私たちの運動を広げるためのさまざまな努力を象徴しています。その努力により、より多くの少女と若い女性が力をつけたと感じ、自らの可能性を最大限に伸ばすようになるのです。



3つのステップの活動に取り組んで、2017年のワールドシンキングデイを祝いましょう

ステップ 1 新しい友をつくろう (5～6ページ)
自分の周りのコミュニティで、ガールスカウト活動を知らないグループを見つけ、ワールドシンキングデイ (WTDと略) 集会に招待しましょう。一緒に、わくわくする冒険を始めましょう。



ステップ 2 一緒に楽しもう (11～26ページ)
失われた「変化の種」の謎を解き、ガールスカウトであることは、どんなに楽しいことかを新しい友達と一緒に楽しみましょう。WAGGGSの4つの部分から、それぞれ活動を選び、「変化の種」探しを続けましょう。

ステップ 3 木を植えよう! (27～29ページ)
失われた「変化の種」を見つけたら、WTDを祝い、新しい友情の始まりを記念して、種を植えましょう。

あなたとWAGGGSのつながりを広げる方法は、たくさんあります。

ウェブサイト (英語) : www.waggs.org または www.worldthinkingday.org

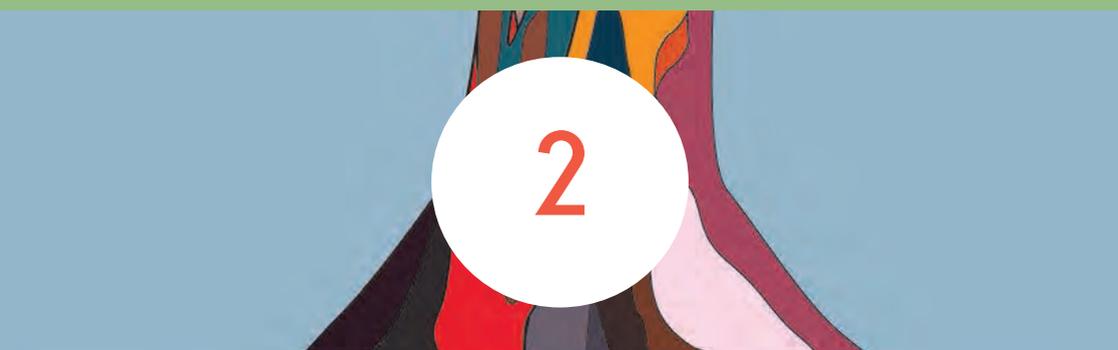
 @waggs_world

 waggs

✉ Eメール: wtd@waggs.org (英語)

ハッシュタグ: #WTD2017 #LetsGrow

WAGGGSの木を見つけよう



宝探しの最後に、このページをコピーして、4つの部分に切り分け、すべての参加者に見せてもよいでしょう。



花と実

花と実は、世界中の少女と若い女性です。私たちは、彼らを尊重し、責任ある世界市民となるために共に活動します。彼らは準備ができたときに「変化の種」となるのです。



枝

枝は、世界的なガールスカウト運動に関わることにより、会員が身につけるさまざまなスキルです。若い会員は、ガールスカウトの教育手法を通して、めまぐるしく変化する世界に適応したスキルを身につけます。個性、関わり方、協力、創造力、コミュニケーション、市民としての責任等が含まれます。



幹

幹は、ガールスカウト運動が、WAGGGSに加盟する146の国と地域のすべての少女のさまざまなニーズに対応して、1つの根からさまざまな方向へ、どのように発展していくかを象徴します。



根

私たちの運動の根は、世界中のガールガイド・ガールスカウトを結びつける2つから構成されています。私たちの共通の価値観を示す「やくそくとおきて」とガールスカウトの教育方法です。

リーダーの皆さま（始める前に）

新しい友をつくろう

2017年のワールドシンキングデイ活動パックには、2つの役割があります。

①世界規模の運動と2017年のWTDを祝うための資料としての役割：

国際的な友情を祝い、世界中の1千万人のガールスカウトに影響を与えるプロジェクトを支援するための資金を調達します。

②教材としての役割：

1年中いつでもガールスカウトの集会で活用することができ、新しく会員となり得る人も楽しく集会に参加し、私たちの運動を広げます。

運動を広げるためのアイデア

- ・ 友達を連れてくる：WTDの集会に、それぞれのガールスカウトが、1人の友達を連れて参加する。
- ・ 学校で：地域の学校で、放課後の活動の1つとしてWTDを祝う会をあなたが主催することができるか、学校に問い合わせる。
- ・ 青少年センター・児童館：地域の子ども・若者のための青少年センター・児童館で、子ども・若者を招いてWTDを祝う会をあなたが主催することができるか、問い合わせる。
- ・ 地域の青少年団体：パートナーシップの可能性を探る。
- ・ 言語：あなたの国では、何種類の言語が使われているか？あなたの団の会員とは異なる言語を使う人々と一緒に活動する方法はあるか考える。
- ・ 新しい場所：市内や近隣地域で、ガールスカウトの団がないところはあるか確認する。詳細情報は、都道府県連盟や日本連盟に問い合わせる。
- ・ 外に出よう：WTDの集会を公園など、会員になり得る子どもが活動を見ることができ、参加したくなる場所で実施する。



どの年齢グループを対象とする場合でも、リーダーにとって大切なことは、選択したWTD活動の内容を少女のニーズに合わせて変更する必要があるかどうかを理解するために少女たちとつながること、そして、少女たちに楽しい時間を提供するためにともに活動することです。ガールスカウトとともに企画することで、WTDの集会が待ち遠しくなると同時に、多様性の理解を広げます。

「広げる」チェックリスト

- 地元のどの青少年グループに連絡を取るかを検討する話し合いに、ガールスカウトを参加させる。事前に調査し、さまざまな可能性を一緒に話し合う。
- 広報活動の計画を確認し、記録する。
- 日程を確認し、選んだ青少年グループを招待する。ガールスカウトが招待状を作り、送ってもよいでしょう!
- 事前にこの活動パックをよく読み、必要な情報、準備するもの、費用などを確認する。内容を変更する必要があるか、決定する。集会で、ガールスカウトと活動を計画する。
- 百聞は一見にしかず! ガールスカウト活動を表す写真を使い、ポスターを作る。新しい会員となる可能性のある少女に、私たちの運動がどんなものかを知ってもらうよい方法です。
(『How to ガールスカウト広報』参照)
- 団への問い合わせ方法や、入会の手順を明確にする。自分の地域のガールスカウト活動に関するリーフレットを準備し、適切な情報が記載されていることを確認する。(会員向けHP「団運営のヒント」参照)
- 招待客が到着した際に、招待客の名前や住所などを記入する受付用紙を準備する。
- WTDの集会の最初に、親しみやすい導入のゲームを実施する。(12ページの活動を実施してもよい。)
- WTDの集会の後に、受付で記入してもらった受付用紙の情報をもとに、お礼状を送る。参加したWTDの集会での写真や、その後の集会の情報を同封し、また参加できるようにする。

一緒に楽しもう



失われた「変化の種」を見つけよう！

WAGGGSは、ガールスカウトと新しく会員になり得る人がWTDを祝う宝探しゲームを考案しました。いつもの集会やWTDの活動の1つとして、皆で一緒に楽しめるものです。

<p>活動を実施することにより、得られる成果</p>	<ul style="list-style-type: none">・ WAGGGSとWTDについてより多くのことを知る。・ 1千万人の中の1人であることを感じる。・ 21世紀に求められるスキル（コミュニケーション、協力、関わり方、創造力、個性、市民としての責任）を伸ばす。・ 楽しむ！
<p>所要時間</p>	<p>全体で、約1時間30分（各活動は5～15分） 各活動の活動時間は、右のように花の中に示されている。</p> 
<p>必要なもの</p>	<ul style="list-style-type: none">・ ゲームを進行するリーダー、または年長の会員1人・ WTDの活動終了後に植える植物の種。（地理的条件や国の規定について、調べるか専門家に尋ね、植えることができる種類を確認してから使用する種や苗を選ぶ。）・ ゲームに参加するチームの数の地図や手がかり。・ WTDファンドの募金を集めるための箱。
<p>対象年齢</p>	<p>各活動の対象年齢は、右のように葉の中に示されている。</p> 
<p>参加人数</p>	<p>2人以上あるいは2チーム以上。</p>

活動の進め方

- 1 選ぶ：** WAGGGSの木の各部分から(可能であれば、あなたの団のガールスカウトと一緒に)事前に活動を選んでください。
- **根**(11～18ページ)：活動を1つ選びましょう。
 - **幹**(19～20ページ)：あなたの団のガールスカウトがWTDで楽しめる大好きなゲーム、歌、クラフトはありませんか。もしあればこの機会に、新しい仲間と一緒に楽しみ、世界中の人々と共有しましょう!
 - **枝**(21～26ページ)：活動を1つ選びましょう。
- 時間があれば、複数の活動を選び、楽しんでください!

- 2 決める：** 会場に活動ごとのコーナーを設置し、チームごとに順番に回るか、すべてのチームが同じ活動を同時におこない、1つずつ活動を進めるか、実施方法を決定します。

- 3 分ける：** 参加者を複数のチームに分けます。可能であれば、各チームの会員と非会員の人数を同じにします。人数が少なければ、2チームで競争するか、みんなで一緒に活動します。

- 4 隠す：** ゲームをおこなう場所、部屋、または建物に、「変化の種」として植物の種を隠してください。

- 5 作る：** 種の隠し場所の地図や手がかりを作ります。地図を作るには、以下のような方法があります。
- 使用する場所や部屋の地図を作り、種が隠されている場所に印をつける。
 - 屋外でおこなう場合は、地域の地図やオンラインの地図を利用してもよい。
 - 種を隠した場所の写真を撮り、印刷する。
 - 種の隠し場所のヒントを書く(例えば、食器棚など)。参加者が年長スカウトの場合、モールス信号を利用して書くなど、考えて解くようにする。
 - あなたのアイデアを生かしましょう!

地図ができあがったら、チーム数分コピーします。その地図は、WTDの集会で予定している活動の数と同じ数にそれぞれ切り分け、種を探すための手がかりにします。チームで活動を1つ終了すると、地図の1ピース=手がかりがもらえます。必ず、チームの数だけ地図を用意しているか確かめてください。例えば、2チームで3つの活動をおこなう場合、同じ地図を2枚用意し、それぞれの地図を3ピースに切り分けたものが、手がかりとなります。

活動する
チームの数 = 地図の数

予定して
いる活動
の数 = 地図を切った
パズルの
ピース
(手がかり)
の数

- 6 お願いする：** WTDの募金を集めるために、会員や新しい仲間に硬貨1枚を持ってくるよう事前にお願ひします。

活動を進行するために

・宝探しの始まりを伝える

WTDの活動全体の始まりを告げるため、進行役は参加者に活動を紹介します。以下の文章を大きな声で読んでください。（自由に身振り手振りをつけて）

「魔法の力を持つ『変化の種』がどこにあるかわかりません。皆さん、種を探してください。チームで協力して、3つの活動に挑戦してください。チームで1つの活動を終了すると、『変化の種』のある場所を見つけるための手がかりを1つもらえます。手がかりを集めて、『変化の種』にたどり着いてください。

ルールは、1つだけ。
チームで協力して、楽しむこと！

・宝探しの終わりを伝える

WAGGGSの木（根、幹、枝）の3つの部分から選んだ活動をすべて終了すると、「変化の種」のある場所を見つける手がかりがすべて揃います。手がかりがそろったら、種を探しに行く前に、どのように探すかを相談します。参加者の年齢や人数によりますが、「変化の種」のある場所を見つけるために、チーム同士で協力するか、競争するか、どちらにするか参加者に尋ねます。

「変化の種」を見つけたら、進行役は次の文を読んでください。

「『変化の種』が見つかりました。おめでとうございます！！

ガールスカウト運動の中の『変化の種』とは、誰のことだかわかりますか？

[4ページのWAGGGSの木の説明を「根」から「花と実」に向かう順に読んでください。]

私たちは、皆さんが変化の種となり、世界をより良い場所に変えていくことを願っています。」

活動パックに使われている言葉について

新しい友：あなたが招待し、活動に参加する非会員のこと。

ガールガイド・ガールスカウト：ガールスカウト運動の会員のこと。

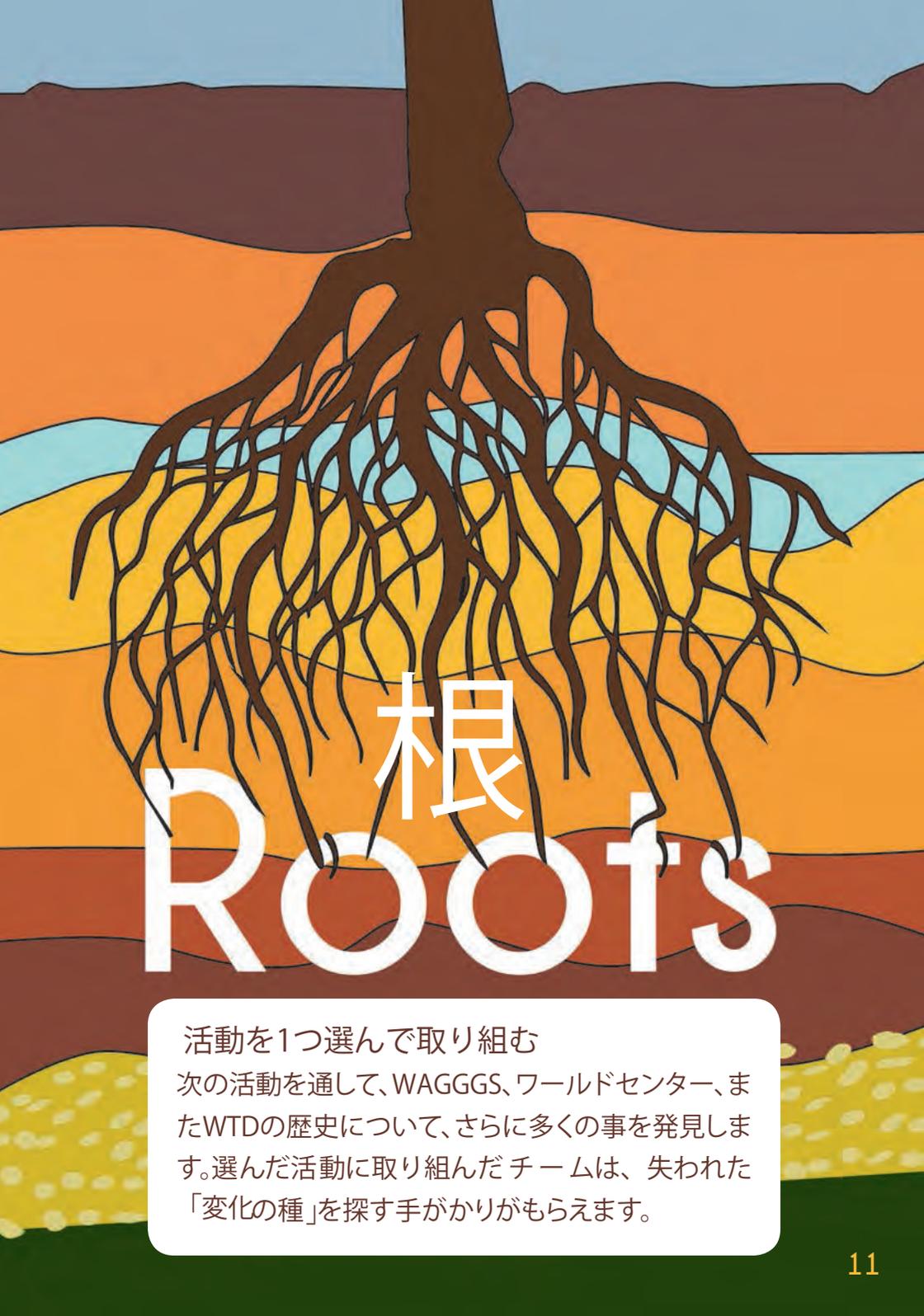
参加者またはグループ：活動に参加する全員のこと。

チーム：小グループのこと。参加者は、チームに分かれて、このWTDの活動パックの活動に取り組みます。

A vibrant, stylized border of tropical flowers and leaves in shades of orange, purple, red, and teal surrounds the central text. The flowers include hibiscus-like blooms and cherry-like fruits on stems.

楽しむ

Have
fun!



根 Roots

活動を1つ選んで取り組む
次の活動を通して、WAGGGS、ワールドセンター、またWTDの歴史について、さらに多くの事を見つめます。選んだ活動に取り組んだチームは、失われた「変化の種」を探す手がかりがもらえます。

アイスブレイクとガールスカウト活動の紹介

準備：全員輪になって座る。初めて参加した人は、ガールスカウトの間に座る。A4サイズほどの大きさの紙を1人1枚ずつ配る。

1. ガールスカウトは、誰にも相談せず、自分にとってガールスカウト活動とは何かを簡単な絵で描く。
初めて参加した人も、誰にも相談せず、何をしているときが一番楽しいかを簡単な絵で描く。
2. 描き終わったら、絵を描いた紙を自分の右側の人へ渡す。
3. 各自、回ってきた絵を見たら、絵が内側になるように紙を半分に折って見えないようにして、上になった面に、何の絵が書いてあったかを文字で書く。その紙をさらに右側の人へ回す。
4. 各自、書かれた説明を読んで、字が見えないように、さらに紙を半分に折り、上になった面に、説明されていたことの絵を描く。
5. これを繰り返す。何の絵が描いてあるのか判断することと、文字で書いてある内容を絵に描くことを順番に繰り返しながら、最初に絵を描いた人まで一周したところで、ガールスカウトと初参加の友達がペアになり、その内容を発表する。
大切なことは、言葉か絵のどちらかしか見ることができないこと。1枚の紙を使うより、数枚の紙やメモ帳のほうが使いやすければ、それでもよいが、必ず前に書かれたものも一緒に回すようにする。
6. 絵の中で、似ているものはあったか、全員に質問する。
7. ガールスカウト活動の中で、どんなことが一番楽しいか、また、どのようにしてその楽しさを見つけられるか、自分たちの体験を共有するようにガールスカウトと初参加の友達に勧める。

オプション

「Make new friends（新しい友）」の歌を参加者に教えて、この活動を終了する。

「新しい友を作ろう、古い友も忘れず、新しい友は白金、古い友は黄金ぞ」

参考：『楽しいソング-ガールスカウト歌集-』



2

アワカバニャを広げよう

アワカバニャは、メキシコのクエルナバカ市にあります。
アワカバニャの情報は、WAGGGSのウェブサイト参照(英語) <https://www.wag-ggs.org/en/our-world/world-centres/our-cabana/about-our-cabana/>



皆さんは、アワカバニャがほんのいくつかの小屋から始まったことを知っていますか。その後、世界中のガールスカウトの支援のおかげで、現在のアワカバニャになりました。毎年発展し続け、美しい庭や荘厳な火山の景色に囲まれた神秘的な場所で、訪れた人々は自分たちの夢を実現させることができます。

1. 指令を出す役になる人1人を決めたら、その他のすべての参加者を3人1組に分けます。3人グループは、3人のうち2人が互いに向き合って手を挙げて組み、アワカバニャの小屋を表す形になります。残りの1人は、その中に入り、ゲスト(訪問客)になります。
2. 指令を出す役の人は、次の3つの言葉を使って指令を出します。
 - ・「カバニャ」：指令を出す役が「カバニャ!」と叫ぶと、すべての小屋(2人)は移動し、別のゲストを探します。ゲストは元の場所から動きません。
 - ・「ゲスト」：指令を出す役が「ゲスト!」と叫ぶと、そのゲストは小屋を離れて、他の小屋を探さなければなりません。小屋の2人は、元の場所から動きません。
 - ・「火山」：指令を出す役が「火山!」と叫ぶと、小屋の2人はばらばらになり、ゲストも全員移動して、新たなグループを作ります。
3. 指令を出す役の人は、言葉を叫んだらすぐに、どこかのカバニャかゲストになろうとしますから、誰か1人が必ず残ります。残った人は、まず、次のようなダンスを踊ります。(※他の歌やダンスにしてもよい。)

「マラカスだ、小さな穴から、
種を入れて、小枝をつけよう。
チャ、チャ、チャ、チャ」

(腰を動かし、マラカスを作って振っているように踊る)

4. 踊りの後、今度はその人が指令を出す役になり、3つの言葉(カバニャ、ゲスト、火山)から1つ選んで大きな声で呼びます。毎回、誰か必ず残るので、その人はダンスをしてから指令を出します。

ゲームを進めながら、3人1組から 数を変えることもできます。
たとえば、4人1組とするなら、「ゲスト」が2人、「小屋」が2人になります。
このようにして、グループの人数はリーダーの希望する人数に変更することができます。



クサフィリは、アフリカのさまざまな国を移動します。

クサフィリの情報は、WAGGGSのウェブサイト参照(英語)
<https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/kusafiri/>

準備: 模造紙と水彩絵の具。模造紙には、アフリカ大陸の白地図を書いておく。
 3つ以上チームがある場合は、チームごとに地図を準備します。

クサフィリワールドセンターは、WAGGGSがアフリカにある既存の施設を使って、ワールドセンターでの体験を提供する方法を探るプロジェクトです。2015年10月、「第5」のワールドセンターに「クサフィリ」という新しい名前がつけました。クサフィリとは、スワヒリ語で「旅をする」という意味です。これまでに、クサフィリはガーナ、南アフリカ、ルワンダ、ケニア、ナイジェリア、ベナンに移動してイベントを開催しました。次は、マダガスカルに設置される予定です!

この活動ではチームの中の1人が足の裏に絵の具をつけ、これまでにクサフィリが設置されたことのある国に足跡をつけます。足の裏に絵の具をつける代わりに、色鉛筆などで、足の輪郭を描くこともできます。

1. 模造紙のアフリカの地図に、クサフィリが設置されたことがある国に足跡をつける人を各チームから1人選びます。
2. チーム全員で相談しながら、それらの国がどこにあるか、制限時間内に(年少のチームは3~5分、年長のチームは1~2分)できるだけ正確に当てるよう、考えます。
3. 正解の一番多いチームが勝ちです!



皆さんが作成した地図をソーシャルメディアでWAGGGSと共有しましょう。

 @waggs_world

 waggs または kusafiri

✉ Eメール: wtd@waggs.org (英語)

ハッシュタグ: #WTD2017 #LetsGrow



サンガムは、インドのプネー市にあります。

サンガムの情報は、WAGGGSのウェブサイト参照（英語）

<https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/sangam/>

準備: インターネットに接続できるノートパソコンやスマートフォン、そして録画のできるカメラやスマートフォンが必要です。

2016年、サンガムはArts 4 Change（変化を起こすための芸術）というユニークなプログラムを実施しました。参加者は、サンガムの地域パートナーとともに、演劇、ダンス、写真、視覚芸術などの芸術に焦点をあて、4つのコミュニティ・アクション・プロジェクトの活動をおこないました。そして リンダ・キャロルが、この4つに共通した音楽プロジェクトをコーディネートしました。イベント期間中、参加者は「When we shine（私たちが輝くとき）」という歌を作り、録音し、プロデュースしました。この曲は<http://bit.ly/whenweshine> で視聴できます。

1. 「When we shine」の歌を使って独自のミュージックビデオを制作することにより、世界中の人々にあなたの国のガールスカウト活動を紹介します。オリジナルの振付を考えたり、自分の町のいろいろな場所で撮影したり、フラッシュモブのようにたくさんの人に参加してもらうなど、思う存分創造力を発揮してください。

2017年3月22日までにビデオができれば、
‘When we shine’ コンクールにご応募ください。

ビデオを送り表彰されると、今後予定されているマダガスカルやインドのサンガムが主催するArts4Changeのイベントに参加する奨学金等を受けられます。ビデオを1回送付することに、無料でメリンダ・キャロルの音楽を10曲選んでダウンロードすることもできます。

応募の詳細は、www.whenweshine.org（英語）をご覧ください。

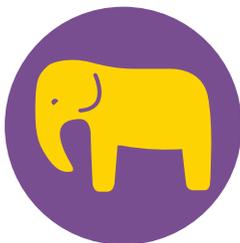
ビデオが完成したら、ソーシャルメディアでWAGGGSやサンガムと動画を共有することができます。

🐦 @waggs_world または @Sangamwc

📘 waggs または sangamworldcentre

✉ Eメール: wtd@waggs.org（英語）

ハッシュタグ: #WTD2017 #LetsGrow





準備: それぞれの活動で準備するものを参照

この活動は、アワシャレーでイベント参加者が体験する「ヘレン・ストローの挑戦ゲーム」の体験版です。参加者はチームのメンバーとともに課題を解決するために協力して工夫しながら、自分自身に挑戦します。時間は10分しかありません。10分以内に、a~fの6つの活動の中からできるだけたくさんの方に活動に挑戦します。

a.洪水

(準備するもの: 5本以上の丈夫な枝、棒またはほうき、3~5本のロープやひも)

アワシャレーでは、環境を守ることをとても重視していて、リサイクル、電気を消す、ドアを閉めておく等の努力をしています。気候変動は世界各地に深刻な洪水をもたらしています。

今から5分後、洪水が迫ってきます!もうすぐ、足が水に浸かってしまうでしょう。皆さんは、洪水が膝の高さまで来ることを想定して、膝より高いところで進行役の人が濡れないようにするため、準備された材料を使って自立式(使える材料以外のものに縛り付けてはいけません。例えば、机の脚や柱など。)の骨組みを作ります。できあがったら進行役が、骨組みの上に乗る、安全に避難できるか判定します!

b.グラウンドシート返し

(準備するもの: チーム全員が少し余裕をもって立てる大きさのレジャーシートやシート。必要な大きさに、折りたたんで小さくしたものを使用してもよい。)

たくさんのグループが、自分の団の仲間と共に、アワシャレーを訪れます。家から遠く離れ、1週間、1カ月間も同じ人たちと旅をするということは、団体としての意識を保ちつつ、自分だけの空間を創造的に見つけなければならないことを意味します。

レジャーシートの上にチーム全員が立ち、まわりの床に触らずにレジャーシートを裏返して全員が今度はシートの裏面に立つことを目指します。レジャーシートのまわりの床に触った人がいたら、最初からやり直します!

c.象

(準備するもの: なし)

アワシャレーは、リーダーシップセミナーを開催しており、そこではチームの役割について、そしてどのようにチームを率いていくかということを学びます。

まず、チームメンバーが全員縦一列に並びます。全員が、左手は足の間に前から後ろに通して後ろの人の右手と手をつなぎ、右手は前に伸ばして前の人の左手とつなぎます。そして、絡まった手をほどきます。互いの手を離したり、足を床から上に持ち上げてはいけません。鎖は切れたことになり、最初からやり直します!

答え: <http://bit.ly/ElephantAnswer>

d.バランス

(準備するもの: なし)

アワシャレーは、野外での冒険をとおして、自分自身に挑戦するプログラムをたくさん用意しています。ロープのアスレチックコースにあるつり橋でバランスを取ることは、アワシャレーで挑戦できるチャレンジの1つです。

チーム全員が、決められた時間まで、目をつぶって片足でバランスをとります。チャンスは一回しかないのです。片足を下ろしてしまわないように気をつけてください! さらに、キャンプファイアーソングを歌いきった場合は、ボーナスポイントがもらえます!(バランスを取る時間は、参加者に合わせてリーダーが決めてください。)

e.10まで数える

(準備するもの: なし、または情報を得るために必要な場合、外国語の本数冊)

スイスにはスイスドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の4つの公用語があります。

チームで、外国語で10まで数えましょう。チームのメンバーがもともと話せる言語は使えません。2つ以上の言語で数えることができれば、チャレンジの終了時間が3分追加されます。

f.コインミキサー

(準備するもの: 硬貨10枚。コイン10枚をボーリングのピンのように置き、三角形を作っておく。)
 スイスの通貨は、スイスフランです!

コインを3つだけ動かして、三角形の1つの頂点が反対の方向を指すようにします。

答え: <http://bit.ly/TriangleAnswer>



6 レディ・オレブ・ベーデン-ポウエルの庭を広げよう

パックスロッジは、イギリスのロンドン市にあります。

パックスロッジの情報は、WAGGGSのウェブサイト参照 (英語)
<https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/pax-lodge/>

準備: 1人1枚の紙、色鉛筆 (参加人数分)。

オレブ・ベーデン-ポウエルは、初代チーフガイドで、ガールガイド・ガールスカウト活動の普及に貢献しました。オレブはこの運動が大好きで、お孫さんが「祖母は、ガールガイドのピンを外したことはありませんでした。ガーデニングをしている時もね!」と語ったことがあるぐらいでした。

パックスロッジにはすてきな庭があり、特に夏には楽しく過ごすことができます。さあ、あなたが自分自身の庭を作りましょう!

1. どんな庭も少しの土、または土地から始まり、土から庭作りに必要な栄養を得ます。紙、または床に、土を表す線を一本描きます。
2. 新しくできたスペースに自分の団名を書きます。団は、この運動を広げていくために必要な支援を受けるのに役立ちます。
3. 続いて花壇を作ります。チームのメンバーの一人ひとりを表す花を描きましょう。それぞれの茎には、そのメンバーの良いところを1つ書きます。

4. 次に、枝が5本ある木を描きます。それぞれの枝に、WAGGGSの5つの地域名 (アジア太平洋、アフリカ、ヨーロッパ、アラブ、西半球) を書きます。
5. その後、太陽を描いて「WAGGGS」と書きまます。WAGGGSはすべての会員が自らの可能性を最大限に伸ばすことができるような機会を提供します。
6. 次に雲を描き、その中に「日本連盟」と書きます。どんな庭でも、花が咲くためには雨が必要で、加盟連盟が、各団が何かを達成するのを支援するという事です。
7. 最後に、ユニフォームを着て美しい庭を楽しんでいる自分を描きましょう。

おわかりのように、庭を作るにはたくさんの異なる要素が必要です。それと同じように、いろいろな支援を受けて、皆さんは今いる場所に到達することができたのです。そして、これからも多くの人々が、あなたのガールスカウト活動での経験を支援し続けます。



皆さんが作った庭を私たちにも見せてください! 庭が完成したら、ソーシャルメディアを通じて、WAGGGSとパックスロッジと共有してください

🐦 @waggs_world または @PaxLodge

📘 waggs または PaxLodgeFriends

✉ Eメール: wtd@waggs.org (英語)

ハッシュタグ: #WTD2017 #LetsGrow



7 ワールドシンキングデイファンドを広げよう

準備：WTDファンドの寄付を集めるための箱。写真を撮るためのカメラなど。

WTDファンドは、世界中の少女や若い女性、そして加盟連盟に支援と機会を提供しています。また、アルジェリア、アルバニア、エチオピア、ラオス、モザンビーク、タジキスタンなどの新しい国々にガールスカウト運動を広げることも可能にします。

1932年、オレブ・ベーデン-ポウエルは、世界中のガールスカウト活動の支援に役立てるために1人1ペニーの募金をお願いする手紙をすべてのガールガイド・ガールスカウトにあてて書きました。このアイデアは単純です。1枚の硬貨はたいした金額には思えません。1千万枚の硬貨が集まれば、私たちの活動や世界中のガールスカウトの可能性を広げることができます。

1. 参加者にWTDファンド用の箱に硬貨を入れてもらい、いくら集まったかを一緒に数えます。この募金をさらに増やす活動に挑戦します！
2. 集まった硬貨を使って木の絵を作り、その写真を撮ります。写真にメッセージを考えてつけ、それを使って1カ月間、各自が募金活動を続け、友人や家族から募金を集めます。集まった募金は、WTDファンド用の箱に追加します。
3. 1カ月後、いくら集まったかをもう一度みんなで数え、この募金でWAGGGSがどんなことができるかを考えます。

屋外や公共の場所でWTDの活動をおこなう場合は、WTDについて説明し、そのコミュニティに寄付をお願いしてもよいでしょう。

WTDファンドについての詳細は、www.worldthinkingday.org (英語) をご覧ください。

WTDファンドは、日本連盟を通してWAGGGSに送られます。

日本のガールスカウトの団や個人によるWTDファンドは、日本連盟でまとめて世界連盟に送金します。寄付の受付は、各都道府県連盟になりますので、送金方法については各都道府県連盟にお問い合わせください。また、各年の受付期限が設定されていますので、ご確認ください。(その年の締め切りを過ぎて送られた寄付については、翌年の寄付として受け付けられます。)

2020年を目指して

WAGGGSは、ガールガイド・ガールスカウト運動の普及のために新しい国々と協力しつつ、146の加盟連盟の会員増強も支援していることを知っていますか。

WAGGGSは、2020年までに、154カ国に1200万人の会員へと拡大することを目指しています。





Trunk

幹

あなた独自のWTDの活動を考えましょう！

WTDの活動パックでは初めて、あなたが活動を自分で作ります。

大好きなソング、ゲーム、クラフトがありませんか。
今こそ、新しい友と一緒に楽しみましょう。

『ガールスカウト元気の種』シリーズには、さまざまな活動が
紹介されています。参考にしましょう。

ここでは、2つの選択肢があります。

1. 事前に担当グループを決めておき、活動を1つ実施する。

あるいは

2. 初参加の友達にガールスカウトがソングやゲームを教え、その後、その友達が皆に何か新しいものを教える。

この活動に取り組んだすべてのチームは、「変化の種」を探す手がかりがもらえます。

あなたの活動を共有しませんか？

WAGGGSはみなさんの素晴らしいアイデアを集めて、世界中のWTD活動について知ることができるオンライン図書館を作りたいと考えています。WAGGGSのウェブサイト<https://www.waggs.org/en/what-we-do/world-thinking-day/>（英語）を参照して、以下の表に示された事項をオンラインフォームに英語で記入し、あなたの活動の情報をWAGGGSに送ってください。できるだけたくさんの活動を共有したいと考えています。世界のどこかの国のガールスカウトが、あなたの活動に影響を受けて、WTDの活動に選ぶかもしれません。

活動名	
国	
活動を実施することにより、得られる成果	
所要時間	
準備するもの	
対象年齢	
内容	
団名、グループ名	
活動に関する団の成人リーダーのメールアドレスの共有を希望しますか。そうすれば他のガールスカウトの団があなたに直接連絡できます（任意）	（注：WAGGGSのウェブサイトで個人のメールアドレスを公開することは、世界中の不特定多数の人にあなたのメールアドレスを公開することであることをご承知ください。）
出典	

2017年WTDの活動に取り組み、ガールスカウト活動をより多くの少女に紹介して会員を増やすと、WAGGGSの表彰であるオレブ賞を受賞できるかもしれません。2017年オレブ賞のテーマは、「より多くの少女たちが、REAL（適切な、わくわくする、関わりやすい、学習者主体の）活動を経験する」です。詳細は、www.waggs.org/OlaveAwards（英語）を参照。

Branches 枝



活動を1つ選んで取り組む

ここに紹介する活動は、若い会員たちが、個性、関わり方、協力、創造力、コミュニケーション、市民としての責任を高めることができるように作成されています。グループの必要性や興味に応じて、もっとも適切な活動を1つ選びます。選んだ活動に取り組んだチームは、「変化の種」を探す手がかりがもらえます。

準備: 自分の国、文化の伝統的、民族的な絵画様式を調べるか、他の文化や民族の芸術について調べます。初めて参加した友達の中に、独特の芸術を持つ地域や国の出身者がいるかもしれません。または、インドのワルリ族の絵(下の写真参照)を参考にすることもできます。

この活動では、参加者は、1番気になる問題を考え、話し合いながら、それを絵で表します。そして、次々と絵を描きながら、話し合いを進めることを体験します。気になる問題は、学校、家庭、コミュニティで起きていることかもしれません。

1. まず、チームが考えた気になることを1つ、紙の中心に絵で表します。
2. その絵の周りに、次々に浮かぶ考えを絵で描いて表します。これは、ワルリ族の絵を参考にすると、分かりやすいでしょう。さまざまな人、物、考えを象徴する描き方を真似して、思いや考えを自由自在に表現することができます。紙が絵でいっぱいになるまで続けます。

ワルリ族の絵には通常、一緒に働き、歌い、踊り、祝福する人々が描かれています。参加者は、絵を描きながら思いを目にみえる形にすることで、自分たちが望む変化を具体的に想像できるかもしれません。できあがった絵は、ソーシャルメディアや他のグループと共有することで、チームの思いを「広げる」ために起こしたい変化や、動機づけを声にするにもつなげることができるでしょう。



インドのワルリ族の絵(ワルリ画)



準備:各チームに建築材料のセット(例えば、画用紙、つまようじ、輪ゴム、付せんなど)、目隠しするもの(スカーフでもよい)、扇風機1台、時間を測るための腕時計もしくは携帯電話。

1. 参加者は、ツンドラ地帯をトレッキングしている北極探検家になります。チームごとにその探検のリーダーを選びます。突然の嵐に遭遇し、チームは生き続けるために緊急にシェルターを建てなくてはなりません。チームリーダーの手は凍傷にかかり、シェルター建設のために手を使って手伝えることはできません。チームメンバーは、雪眼のため、全員目が見えません。
2. 1回目のシェルター作り:各チームに建築材料セットを渡し、チームリーダー以外は、全員目隠しをします。チームリーダーの指示を頼りに、チームのメンバーは目隠しをしたままで、シェルター作りを始めます。この活動のための時間は、わずか7分です!

参加者の年齢が低ければ、目隠しをしなくてもいいですし、時間も少し増やして調整しても構いません。また、建築材料をより頑丈でシェルターを作りやすいものにもできます。例えば、つまようじの代わりに、割りばしを使うなど。
3. 制限時間になったら、扇風機で「北極の風」をシェルターに向かって吹かせ、作ったシェルターがどのくらい安全を確保できるのか見てみましょう。
4. 2回目のシェルター作り:チーム内でチームリーダーを交代しても構いません。今度は、扇風機が回っている中で、5分間、シェルターを作り直します。
5. 参加者に、1回目と2回目、それぞれにどのような困難なところがあったかを尋ねます。チームリーダーがどのようにメンバーに指示を出したか、メンバーはこの任務を成し遂げようとするように関わったかよく考えます。一所懸命に取り組んでも、成し遂げることが難しいこともあると説明します。自分の生活の中で、熱心に関わりたいことについて考えてみましょう。

他の連盟のガールガイド・ガールスカウトとの友情のネットワークを世界中に広げてみたいと思いませんか。WAGGGSのオンライン学習「GLOW」(英語)のペンパルフォーラムから、申し込むこともできます。

glow.waggggs.org **GLOW**



3

協力を広げよう

準備：セロテープ、ひも。室内でこのゲームをおこなう場合、出入口に2本のひもを交差させてセロテープでつけておきます。2本のひもは、約110cmと150cmのように長さが異なるもの。屋外でおこなうときは、木や柱にひもを結び付けます。

1. ひもは毒グモの巣であり、触れてはいけないと、参加者に説明します。
2. チームごとに、全員がクモの巣の糸に触れることなく、くぐり抜けなくてはなりません。ひもの数を増やして、難易度を上げることもできます。



4

個性を広げよう

準備：紙と鉛筆（参加人数分）

1. 参加者の一人ひとりが、自分の1番良いところと改善したいところを配った紙に書きます。書いたら、その紙を雪玉のように丸めます。
2. 進行役の合図とともに、全員で雪合戦のように、紙のボールを投げ合います。
3. 1～2分後、進行役の合図で投げるのをやめ、紙のボールを1人1つ拾います。
4. 拾った紙を開き、書かれた内容を見て、誰が書いたのかを順番に当てていきます。
5. 次に、全員に質問します。あなたが改善したいと思っていることを1番良いことだと思っている人はいませんか？

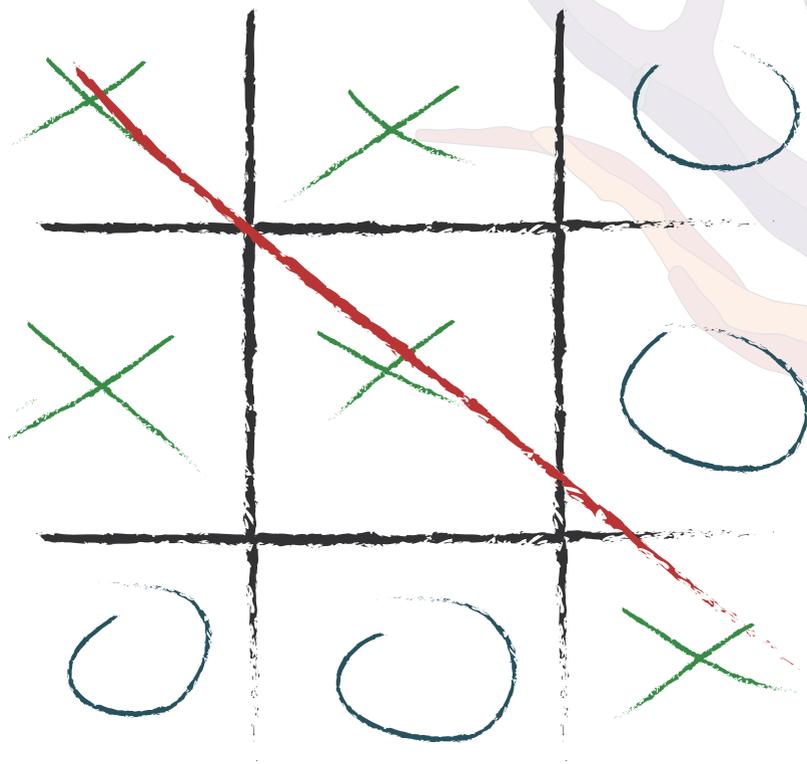
改善したいと思っていることと1番良いと思っていることが同じ人同士で、ペアか少人数のグループになり、改善に向けて翌月におこないたいことについて3つ、意見を出し合います。



準備：図のように縦横3列の格子になるように線を引きます。紙で準備するか、床にチョークやロープで同じように線を引いても構いません。

1. チームを2つのグループに分けます。三目並べの紙や三目並べのマスを床に描いて部屋の端に設置し、2チームは部屋の反対の端に立ちます。1つを×チーム、もう1つを○チームにします。参加者が9人以上いるのであれば、マスの上に立って×と○をジェスチャーで表すことができます。人数が9人未満のときは、鉛筆やチョークを使用します。

2. チームの先攻と後攻を決め、先攻のチームから、メンバーが三目並べのマスのところまで走っていき、チームにとって一番良いと思うところに×か○の印をつけるか、そのマスの上に立ちジェスチャーで○か×を表します。どの方向でも構いませんが、先に3マス並んだチームが勝ちです。順番を待っている間、チームで的確にコミュニケーションをとることが重要です。何回戦かおこないます。



7分

すべての
年齢

準備：参加人数分の鉛筆かペン。小さな紙か付せんを1人5枚以上。その紙を入れる小さな箱か帽子。

1. 参加者は、各自が頭に浮かんだ言葉を自由に紙に書きます。これを全員が5枚以上書きますが、できれば、言葉を書いた紙は多いほうが良いでしょう。書いた紙は折り曲げて、箱に入れます。
2. 全員で、その箱を中心に輪になって座ります。箱の中の紙に書かれた言葉を使って、物語を作ります。進行役が「とても天気の良い日のことでした。遠くから声が聞こえてきます。『私は木を育てたい…』』と言って、物語を始めます。
3. 続けて、全員で順番に物語を作りましょう！ 自分の順番になったら、箱の中の紙を1枚取り出し、そこに書かれた言葉を使って、物語をつなげて作っていきます。紙に書かれた言葉を使えば、自由にその他の言葉を足して文章にしてかまいません。みんなの文章をつなげると、物語になります。箱の中の紙がなくなったら、活動は終了です。

ガールガイド・ガールスカウトの独自の教育手法についても知りたい場合は、「Prepared to Learn, Prepared to Lead!」をWAGGGSのウェブサイト<https://www.wagggs.org/en/what-we-do/Learn/prepared-learn-prepared-lead/>(英語) でご覧ください。



6歳以上

Flowers & Fruits

花と実

広げよう (#LetsGrow)、祝おう、
分かち合おう!

世界中のすべてのガールガイド・ガールスカウト、そして新しい仲間とともに「変化の種」を植えましょう。

木を植えよう!

あなたがこの活動までたどりついたのであれば、失われた「変化の種」がどこにあるのか見つけたということです。がんばりましたね! これまで、WTDの活動を楽しみ、新しい友達ができたことでしょう。このチャレンジの最後の部分では、これらの新しい友情を祝います。「変化の種」や苗木を植えましょう。

木を植えるときに役立つヒント

種からまく場合

- 種は種まき用の入れ物やトレーにまくとよいでしょう。指示通り深さを守ってきちんとまくことが重要です。それぞれの種の説明書に従って、適切な土と深さを守ってまいってください。
- 種をまくときは、種をまく入れものやトレーの上から約1.2センチのところまで、保水性のある土を入れます。入れ物を静かにゆすったり、軽くたたいて、土を平らにしてください。
- 種をまいた後、そっと水をまいて（あげすぎない）少しだけ湿り気を与えます。
- 種の種類と環境によって、発芽までに2、3日かかる場合と、数カ月かかる場合があります。発芽したら、明るい場所へ移します。屋外に苗を植える前に、2〜3カ月室内で世話をしなくてはならないかもしれません。苗にはできるだけたくさん日光を当てるようにしてください。

苗木を植える場合

- 植える場所を選び、許可を得ます。
- 根の長さに合わせた深さとその2倍の幅の大きさの穴を掘ります。
- 穴の周りの土が固すぎないか確認します。固すぎる場合は、シャベルで少し掘り起こしてならしめます。
- 苗木を入れ物から出します。（根は木にとって血管のようなもので、巻き付いたり、からみあっていないければ大丈夫ですが、もしそうになっているときは、ほぐしてまっすぐにしてください。）
- 苗木を穴に入れて、植木鉢に入っていたときと同じ高さのところまで土の中に入っているか確認します。
- 根の周りに土を入れて、すきまがないように、手や足で土をしっかり押さええます。
- 残った土や草の塊で、植えた部分に水が溜まるように、穴の周囲に小さな土手を作ります。
- 植えたばかりの苗木が、新しい環境になじむように、たくさん水をあげてください。

世界中の仲間と ワールドシンキングデイを祝い、 活動を分かち合おう!

木を植えたら、みんなで写真を撮って、「Let's Grow」という言葉の入った写真の見出しを考えてください。もしインターネットが利用できれば、ハッシュタグ (#LetsGrowまたは#WTD2017)をつけて、ソーシャルメディア上で写真やメッセージを共有してください。他のガールスカウトの活動も見てみましょう。



2017年のワールドシンキングデイの活動への挑戦、
おめでとうございます!

🌐 www.wagggg.org または www.worldthinkingday.org

🐦 @wagggg_world

📍 wagggg

✉ wtd@wagggg.org (英語)

ハッシュタグ：#WTD2017 #LetsGrow



「木を植えるとき、私たちは 平和の種と希望の種を まいています」

ワンガリ・マータイ

世界各地で、ガールガイド・ガールスカウト運動の種をまいて育てるために
尽力してくださっているボランティアの皆さまに感謝申し上げます。
皆さまの貢献が、まかれた種にとって水と太陽の光となり、
私たちの運動を日に日に広げ、
より多くの少女たち一人ひとりが尊ばれ、
世界を変えるために行動を起こせるようにします。

Written by Nefeli Themeli

Designed by Andriana Nassou

© WAGGGS, 2016

World Association of Girl Guides and Girl Scouts

Registered Charity No. 1159255

この教材は、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟(WAGGGS)が作成した教材
"Grow - World Thinking Day 2017"を翻訳し、ガールスカウト日本連盟が作成しました。
翻訳協力：翻訳ボランティアチーム(新井ナヲ子、島田勝子、田畑妙子、酒井美幸)

2017年ワールドシンキングデイ活動パック
(ガールスカウト日本連盟版)

2016年11月 初版
277円+税

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

<http://www.girlscout.or.jp>

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号

Tel: 03-3460-0701 Fax: 03-3460-8383

Email: gsj@girlscout.or.jp

